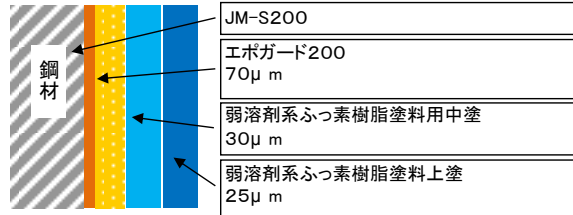
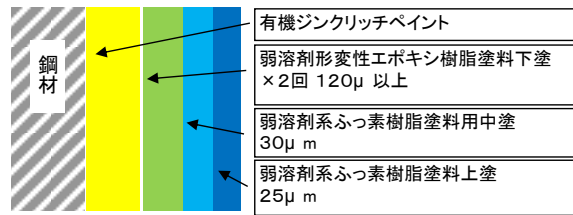
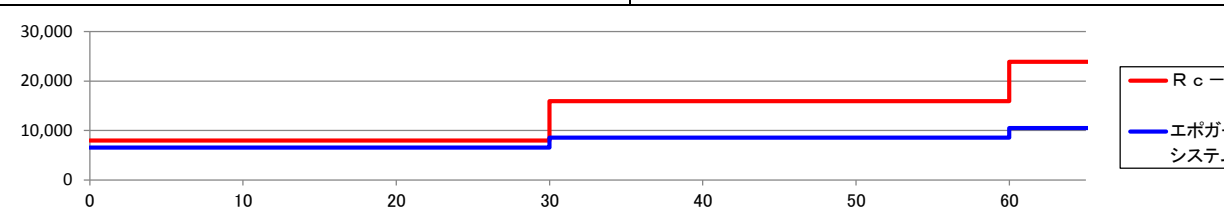


# エポガードシステム・従来技術比較表

名称	新技術					従来技術																																																											
	エポガードシステム					Rc-I 塗装系																																																											
工法概要	3種ケレン程度施工後、ノンクロール200による洗浄を行い、JM-S200により黒錆を促進させ、エポガード200による黒錆転換を確保し内部の安定を図り、赤錆の再発を防止する重防食工法。エポガード200の塗膜厚は70μmとし、使用量は150g/㎡が望ましい。					プラスト処理後、4時間以内に有機ジンクリッチペイントを塗布し、弱溶剤形変性エポキシ樹脂の2回塗りによる重防食工法。																																																											
概略図																																																																	
初期費用 円/㎡	工程	塗料名	㎡単価	工期		工程	塗料名	㎡単価	工期																																																								
	<table border="1"> <tr><td>素地調整</td><td>3種ケレン(B)</td><td>778</td><td rowspan="6">1日</td><td></td></tr> <tr><td>洗浄</td><td>ノンクロール200</td><td>1,187</td></tr> <tr><td>下地処理</td><td>JM-S200(錆面積15%)</td><td>158</td></tr> <tr><td>下塗り</td><td>エポガード200</td><td>2,815</td></tr> <tr><td>中塗り</td><td>弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗</td><td>571</td><td>1日</td></tr> <tr><td>上塗り</td><td>弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗</td><td>1,040</td><td>1日</td></tr> <tr><td colspan="2">合計</td><td>6,549</td><td></td><td></td></tr> </table>					素地調整	3種ケレン(B)	778	1日		洗浄	ノンクロール200	1,187	下地処理	JM-S200(錆面積15%)	158	下塗り	エポガード200	2,815	中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	571	1日	上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	1,040	1日	合計		6,549			<table border="1"> <tr><td>素地調整</td><td>1種ケレン</td><td>4,720</td><td rowspan="6">1日</td><td></td></tr> <tr><td>下塗り</td><td>有機ジンクリッチペイント</td><td>826</td></tr> <tr><td>下塗り</td><td>弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗</td><td>468</td><td>1日</td></tr> <tr><td>下塗り</td><td>弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗</td><td>468</td><td>1日</td></tr> <tr><td>中塗り</td><td>弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗</td><td>501</td><td>1日</td></tr> <tr><td>上塗り</td><td>弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗</td><td>980</td><td>1日</td></tr> <tr><td colspan="2">合計</td><td>7,963</td><td></td><td></td></tr> </table>					素地調整	1種ケレン	4,720	1日		下塗り	有機ジンクリッチペイント	826	下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	468	1日	下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	468	1日	中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	501	1日	上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	980	1日	合計		7,963	
素地調整	3種ケレン(B)	778	1日																																																														
洗浄	ノンクロール200	1,187																																																															
下地処理	JM-S200(錆面積15%)	158																																																															
下塗り	エポガード200	2,815																																																															
中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	571		1日																																																													
上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	1,040		1日																																																													
合計		6,549																																																															
素地調整	1種ケレン	4,720	1日																																																														
下塗り	有機ジンクリッチペイント	826																																																															
下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	468		1日																																																													
下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	468		1日																																																													
中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	501		1日																																																													
上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	980		1日																																																													
合計		7,963																																																															
再塗装工程	素地調整(4種、目荒らし程度)、中塗りから					素地調整(1種ケレン)、下塗りから																																																											
LCC60年比較																																																																	
評価	◎					○																																																											
素地調整	3種ケレン程度					1種プラスト(Sa2.5)以上																																																											
作業性	ディスクサンダー等の電動工具と手工具を併用し、活膜以外の(錆、割れ、ふくれ)を除去。機材が入れない狭い部でも施工可能。					研削材を、圧縮空気によって金属表面にたたきつけ、表面の錆、旧塗膜を完全に取り除き鋼材面を露出。研削材の量は1㎡あたり40kg以上が見込まれる。産廃処理を必要とする。又粉塵騒音による環境への影響予防の為高度な養生を必要とする。																																																											
評価	◎					△																																																											
工程	工程	塗料名	作業方法	使用量	工期	工程	塗料名	作業方法	使用量	工期																																																							
素地調整	3種ケレン	電動・手工具	-	-	1日	素地調整	1種ケレン	プラスト工法	-	1日																																																							
洗浄	ノンクロール200	ウエス拭きとり	100g/㎡			下塗り	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600g/㎡																																																								
下地処理	JM-S200	刷毛、ローラー	30g/㎡			下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240g/㎡	1日																																																							
下塗り	エポガード200	刷毛、ローラー	150g/㎡			下塗り	弱溶剤系変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240g/㎡	1日																																																							
中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	刷毛、ローラー	140g/㎡	1日		中塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	170g/㎡	1日																																																							
上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	刷毛、ローラー	120g/㎡	1日		上塗り	弱溶剤系ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	140g/㎡	1日																																																							
作業性	機械を必要としない刷毛、ローラーでの施工により狭い場所でも施工可能。ケレンから下塗りまで一日で施工可能により工期が短縮できる。					ケレンダストおよびスプレーミストの飛散対策として飛散防護シート等十分な養生と換気に注意が必要																																																											
評価	◎					△																																																											
耐久性	20~30年					20~30年																																																											
評価	◎					◎																																																											
安全性	鉛、クロム、亜鉛等重金属類不使用により施工上安全です。					溶剤を必要とし環境性が悪い。																																																											
評価	◎					○																																																											
環境への影響程度	騒音粉塵の発生なく環境にやさしい。					騒音粉塵による環境への配慮が必要となる。																																																											
評価	◎					△																																																											
適用条件	気温5℃以下、湿度85%以上、雨天あるいはその恐れがある時、強風あるいはその恐れがある時は不可。紫外線劣化対策を含め中塗上塗が必要。					気温5℃以下(有機ジンクリッチペイント)、気温5℃以下(弱溶剤形変性エポキシ樹脂)、湿度85%以上、雨天あるいはその恐れがある時、強風あるいはその恐れがある時は不可。紫外線劣化対策を含め中塗上塗が必要。																																																											
評価	◎					○																																																											
LCC	マグネタイト化による素地安定が再塗装サイクルの安定を図れる。又、再塗装時の素地調整は不要となり表層の目粗し程度で済み大幅なLCCの軽減につながる。					ジンクリッチペイント処理は長期維持が可能。しかし弱溶剤形変性エポキシ樹脂劣化については3種ケレンで素地調整による再塗装は必要となる場合もある。LCCの軽減につながる。																																																											
評価	◎					○																																																											
備考	NETIS CB-080011-V 特許 第3659822号					Rc-I 塗装系																																																											
総合評価	◎					○+																																																											

※一般工法の見積りは土木コスト情報より引用。諸経費、損料等は含まず。

2015/2/16